

## XF15 在来仕口標準マスター対応表\_240531

### 1. マスター使用上の注意事項

#### <NE\_在来仕口標準\_240531>

- ①♂♀の加工クリアランスは設定していません。
- ②NE標準としての加工寸法設定のため、加工機に取り付けている刃物と合うかご確認の上、合わない場合はユーザー様でマスターの調整をしてからお使いください。
- ③在来仕口自動生成の際、蟻系仕口（蟻、逆蟻、兜、茶臼）の“同芯／異芯”の判断は、♂♀の材寸で判断しますので、高低差がある部分は確認／変更が必要となります。
- ④蟻系仕口で柱もたせになる場合、高低差がある納まりは、下まくり量の確認／変更が必要となります。
- ⑤兜は♂♀材に高低差があるため、同芯／異芯の判定、および柱もたせ時の下まくり量を正しい判定ができません。手動での配置、又は下まくりや加工種類の変更が必要となります。
- ⑥逆蟻や茶臼は、自動判定できません。手動で取付面を指定して配置してください。
- ⑦高低差のある継手は、自動生成できません。手動での配置となります。
- ⑧蟻系、鎌系の仕口については、♂♀ともにXF15出力の加工データを組合せてください。  
XSTAR出力の♀とXF15出力の♂、またはその逆の組合せをすると加工形状が合わない可能性があります。
- ⑨在来仕口計算タイプの計算式を登録する際、括弧を付けない計算式は前から順番に計算されます。  
例：A+B\*C・・・A+Bの値にCを掛ける  
A+(B\*C)・・・Aの値とB\*Cの値を足す
- ⑩同封のエクセルファイルにはこのマスターの加工寸法の計算式が記述されています。  
お持ちの加工機の寸法と違う際にはご自由に計算式を変更してお使いください。
- ⑪在来仕口の自動生成機能は、自動生成テーブルの上から順に条件を判定して当てはまる箇所に在来仕口を生成します。

#### <NE\_在来金物サンプルマスター\_240531>

- ①登録している金物はサンプルです。実際にお使いになる金物がない場合はユーザー様でご登録をお願いします。
- ②加工寸法は一例です。実際にお使いになる際は加工機の刃物や物件仕様に合わせてユーザー様で調整をお願いします。

#### <NE\_標準補強金物\_240531>

- ①登録している金物はサンプルです。実際にお使いになる金物がない場合はユーザー様でご登録をお願いします。
- ②加工寸法は一例です。実際にお使いになる際は加工機の刃物や物件仕様に合わせてユーザー様で調整をお願いします。

## 2. マスター登録在来仕口一覧

### 横架材

タイプ	マスター名称（納まり）
大入れ	大入れ
	大引彫
	根太彫
	火打彫
	桁差し
	胴差し
	胴差し2段
	窓台・まぐさ欠
	コーナー大入れ
傾ぎ大入れ	傾ぎ大入れ
蟻	大蟻
	蟻同芯
	蟻異芯
	寄せ蟻同芯
	寄せ蟻異芯
	蟻柱もたせ同芯
	蟻柱もたせ異芯
	寄せ蟻柱もたせ同芯
	寄せ蟻柱もたせ異芯
	兜同芯
	兜異芯
	茶臼同芯
	茶臼異芯
	兜柱もたせ同芯
	兜柱もたせ異芯
	蟻継
鎌継	鎌継
追掛継	追掛小
	追掛中
	追掛小（傾ぎ）
	追掛中（傾ぎ）
台持継	台持小
	台持中
交差部加工	隅谷欠
	渡り顎
	渡り顎欠
大入軒出	大入軒出

### 柱材

タイプ	マスター名称（納まり）
ホゾ	平ホゾ
	平ホゾ45
	寄せホゾ
	寄せホゾ45
	角ホゾ
	角ホゾ45
大入れ	間柱ホゾ
	間柱欠

### 3. マスター登録金物一覧

#### 小断面工法

タイプ	マスター名称	マスター説明
横架材端部ボルト接合	火打ボルト(90角)	90角の火打梁端部で使用するボルトです。 外側または内側からのオフセット量を指定して配置します。 他の材成で使う場合はレベルを下げるか、マスターの"深さ"を変更してください。 座彫りは配置後の金物属性で火打/梁個別に設定可能です。
	方杖ボルト	方杖端部で使用するボルトです。 上面または下面からのオフセット量を指定して配置します。 座彫りは配置後の金物属性で方杖側/♀材側個別に設定可能です。
	筋違端部ボルト	筋違端部で使用するボルトです。 上面または下面からのオフセット量を指定して配置します。 座彫りは配置後の金物属性で筋違側/♀材側個別に設定可能です。
	引きボルト(上)	在来工法の引きボルトです。 有効長は胴付端部とボックス彫りの間の距離を指します。 また、配置後に金物属性で有効長は個別編集可能です。
ボルトマスター	火打ボルト	「火打ボルト」用のM12ボルトです。 長さは110～450mmを15mm刻みで登録しています。
	方杖ボルト	「方杖ボルト」用のM12ボルトです。 長さは110～450mmを15mm刻みで登録しています。
	筋違端部ボルト	「筋違端部ボルト」用のM12ボルトです。 長さは110～450mmを15mm刻みで登録しています。
	引きボルト	「引きボルト」用のM12ボルトです。 長さは110～450mmを15mm刻みで登録しています。

#### 補強金物

タイプ	マスター名称	マスター説明
羽子板ボルト	羽子板 <sup>♂</sup> ㊦ SB・F L280 羽子板 <sup>♂</sup> ㊦ SB・E L280 羽子板 <sup>♀</sup> ㊦ SP・E	Zマーク表示金物の羽子板金物を3種類登録しています。 それぞれ、以下のような形状です。 羽子板 <sup>♂</sup> ㊦ SB・F＝通常の羽子板 羽子板 <sup>♂</sup> ㊦ SB・E＝腰高の羽子板 羽子板 <sup>♀</sup> ㊦ SB・E＝羽根とボルトが別のボルト長可変式
	ホール <sup>♀</sup> ㊦ HD-N5 ホール <sup>♀</sup> ㊦ HD-N5(U字アッカー)	Zマーク表示金物のホールダウンです。 柱両引部と基礎直結部では使用するボルトが違うので、配置時に使い分けてください。
L型金物	ｺｰﾅｰ金物CP・ZS	Zマーク表示金物のｺｰﾅｰ金物です。 形状は簡易形状となります。
火打金物	火打金物HB	Zマーク表示金物の火打金物です。
帯金物	かど金物CP-T かど金物CP-L 山形 <sup>♀</sup> ㊦ VP 山形 <sup>♀</sup> ㊦ VP2 ひら金物SM-12	Zマーク表示金物で材側面に取り付ける金物です。 加工は入りません。積算と計算用です。 形状は簡易形状となります。
ボルトマスター	羽子板 <sup>♀</sup> ㊦ M12	「羽子板 <sup>♀</sup> ㊦」用の♀材側のM12ボルトです。 長さは110～450mmを15mm刻みで登録しています。
	門 <sup>♂</sup> ㊦ M12	「羽子板 <sup>♂</sup> ㊦」「羽子板 <sup>♀</sup> ㊦」の門ボルト用のM12ボルトです。 長さは110～450mmを15mm刻みで登録しています。
	火打金物 <sup>♂</sup> ㊦ M12	「火打金物」用のM12ボルトです。 長さは110～450mmを15mm刻みで登録しています。
	両ねじ <sup>♂</sup> ㊦ M16	「ホール <sup>♀</sup> ㊦ HD-N5」用のM16ボルトです。 長さは300～1000mmを100mm刻みで登録しています。
	U字アッカー-M16	「ホール <sup>♀</sup> ㊦ HD-N5(U字アッカー)」用のM16ボルトです。 長さは600mmを登録しています。